



はじめに

お使いになる前にならずお読みください。

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったこと、または静電気や落雷などの影響を受けたことによって生じた事故や不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご承知ください。

- 使用上の誤り及び及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。

安全上のご注意

お使いになる前にならずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します		
警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの	
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの	
※1：重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。		
※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。		
※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。		
次の記号は、その注意事項の内容を表します。		
禁止 (してはいけないこと)	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないこと	ぬれた手でさわらないこと
分解しないこと	指示を守ること(必ずしなければならないこと)	電源プラグを抜くこと

警告

- 下記の問題が発生した場合は、ただちに電源コードを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

- 指示**
 - 使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
 - 本製品内部に水や異物が入った場合
 - 本製品を落とした場合
 - 本製品が破損した場合

- コードが傷んだり、異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし、接続を外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、**電源コードを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。**

- 禁止**
 - 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。乾電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により大ケガや火災の原因になります。

- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となり修理ができません。

- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。

- 禁止**
 - 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。

- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。

- 分解禁止**
 - 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。

- ぬれ手禁止**
 - ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- 水ぬれ禁止**
 - 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

- 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。

注意

- 禁止**
 - 本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。

- 直射日光の当たる場所、車の社内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・やけど・感電の原因になることがあります。

- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。

- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

- ぬれ手禁止**
 - 本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水濡れが原因で発生するショート・電池の液漏れ等が原因で故障した場合は修理できません。

- 指示**
 - 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。

- ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があります。特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなる場合があります。その場合は離れた場所でご使用ください。

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため乾電池を本体から抜いてください。乾電池の液漏れが思わぬけがや火災、故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。

- ほかの電気機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が入ることがあります。その場合はほかの電気機器からできるだけ離してください。

- 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。

- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

- 電源プラグや端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。

- 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですとほこりが付着して火災や感電の原因となります。

- 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですとほこりが付着して火災や感電の原因となります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合火災の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜く**

電波法/電気通信事業法に関するご注意

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。**

- 本製品を分解して内部の改造を行った場合、電波法および電気通信事業法に抵触しますので絶対に使用されないようお願いいたします。

電波障害に関するご注意

- 本製品は一般的な屋内の環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビの近くで使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

- 正しく取り扱っても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、以下にご注意ください。

- ・本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。
- ・ケーブルは付属のものを使用してください。

ラジオの受信状態に関するご注意

- ラジオは受信する場所によっては弱電界や建物等の死角となり受信できない場合があります。**

- 本機のAMラジオは本体内部のバーアンテナで受信します。本機の位置・向きが変わることでより受信状態が改善する場合がございます。本体背面のロッドアンテナはFM受信専用です。ロッドアンテナを伸ばしてもAMラジオの受信状態は改善しませんが故障ではありません。

- AM電波は山影やビル影、鉄筋建物の中では受信しづらく、周辺環境の影響を大きく受けます。AMで受信困難な場合はワイドFMでの受信をお試し下さい。

- 平成26年よりAM放送の難聴（都市型難聴、外国波混信、地理的・地形的難聴）対策や災害対策を目的として、FM補完中継局（AMラジオ放送を補完するFM中継局）が随時開設され、最近では整備が整いつつあります。本機はワイドFM対応ラジオです。AM放送が受信しづらい場合は同じ放送内容をFMで聴取することができます。各地域の対応放送局は新聞または総務省のホームページでご確認下さい。

総務省トップ>政策>情報通信(ICT政策)>放送政策の推進>ワイドFM>全国民放FM局・ワイドFM局一覧
https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/fm-list.html

お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露（つゆ付き）に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。

- ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
- ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
- ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
- ・湿気が多い場所で使用した時

- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2-3時間程度室温で放置し付着した水滴がとれるまでお待ちください。

廃棄について(リサイクル)

- パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出してください。識別マークは外箱に表示されています。

製品仕様 及び 同梱物

- ・本体サイズ:約 幅445x奥行116x高さ285mm
- ・重さ:約2.8kg(電池除く)
- ・材質:ABS樹脂 他
- ・AM受信周波数:530～1600kHz
- ・FM受信周波数:76～108MHz
- ・伸縮式ロッドアンテナ
- ・出力端子:イヤホン3.5mmミニジャック
- ・入力端子:3.5mm ミニジャック
- ・電源:単二乾電池×8本(12V)
- ・Bluetooth Ver.5.3 (A2DP/AVRCCP)
- ・USB2.0 再生:MP3 16GBまで推奨

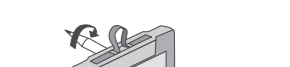
■同梱物:本体×1、電源コード×1、保証書付取扱説明書(本書)

カセットテープの取り扱いに関するご注意

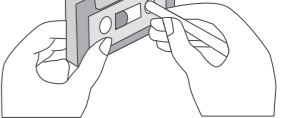
- 本機で使用可能なカセットテープは60分テープまでです。60分を超える物はテープの劣化等の影響で絡まりやすいためご使用をお控え下さい。テープが切れ故障の原因となります。

- 本機の仕様はノーマルタイプ(TypeⅠ)ステレオ再生です。ハイボジ(TypeⅡ) / フェリクロム(TypeⅢ) / メタル(TypeⅣ)の再生は可能ですが、ノーマルタイプ相当の音質となります。

- 定期的なクリーニングをしてください。再生中に音がこもったり小さくなった、聴こえなくなった場合は、まれに磁性体（テープに使用されている金属粉）や異物がピンチローラーや再生ヘッドに付着している場合があります。市販のヘッドクリーナーや綿棒などを使用して再生ヘッドをクリーニングしてください。



- テープのたるみにはご注意ください。再生時にテープがたるんでいると本体に絡まりテープにダメージを与える可能性があります。再生前に右図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



- カセットテープには誤消去防止機能があります。買ったばかりの空のカセットにはカセット上部の左右両端に誤消去防止の爪があります。録音後に爪が折られたカセットや市販のミュージックテープは四角い穴が開いた状態であり、録音ボタンが下がりません。再録音する場合は四角い穴をセロハンテープ等で塞いでください。



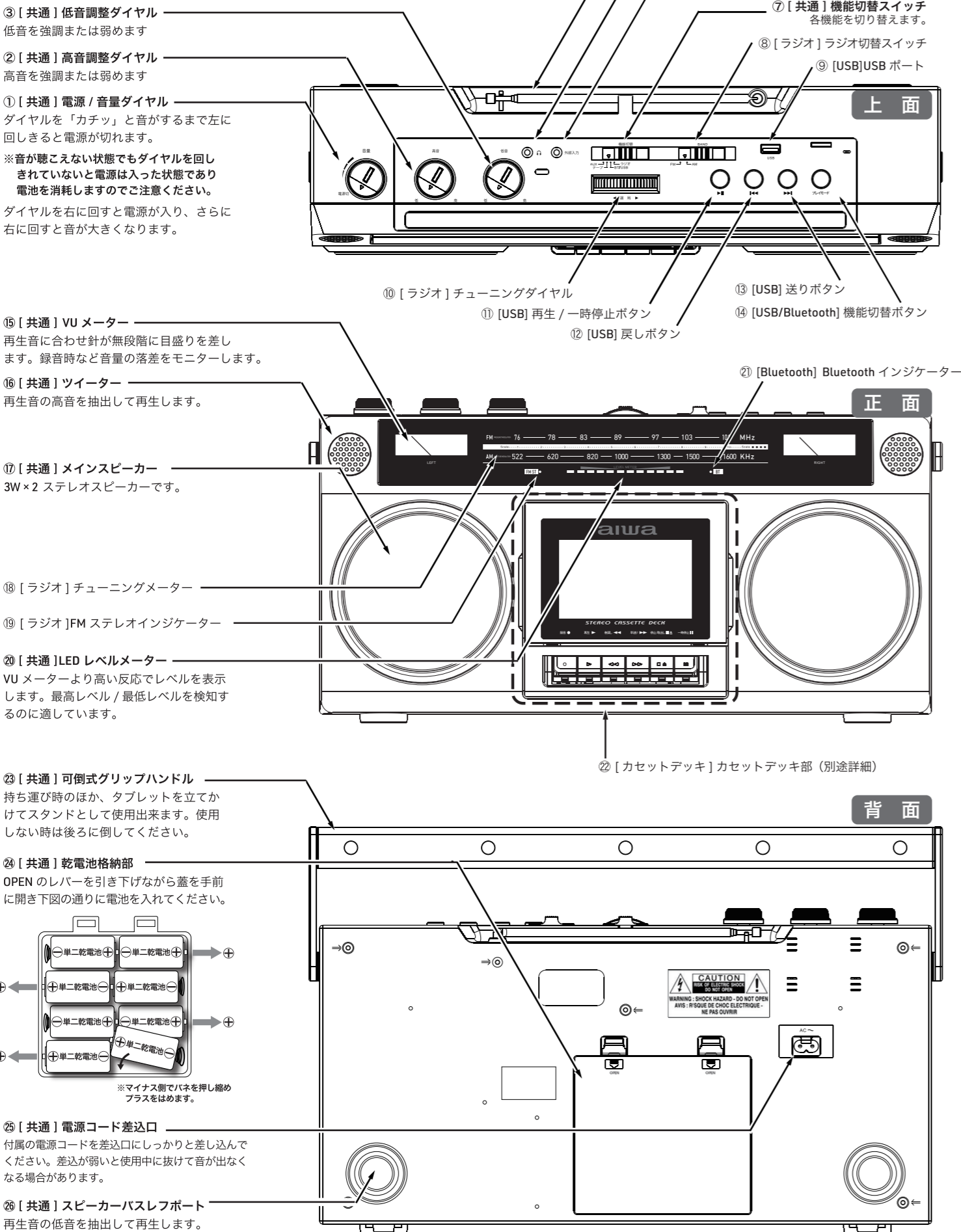
アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター
TEL:0570-055-054 (ナビダイヤル 有料)
FAX:048-997-2082 (有料)
受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く）
Eメールアドレス：aiwa@tohshoh.jp
○通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
○サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
○年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。
※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

<p>〈販売元〉 株式会社とうしょう (aiwa 特約エージェント) 〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ首根 1442-1</p>

各部の名称と使用方法

- **項目説明**
- [共通]…全ての機能に共通して働く機能です。
 - [ラジオ]…ラジオの使い方を参照してください。
 - [カセットデッキ]…カセットデッキの使い方を参照してください。
 - [外部入力]…外部入力の使い方を参照してください。
 - [Bluetooth]…Bluetoothの使い方を参照してください。



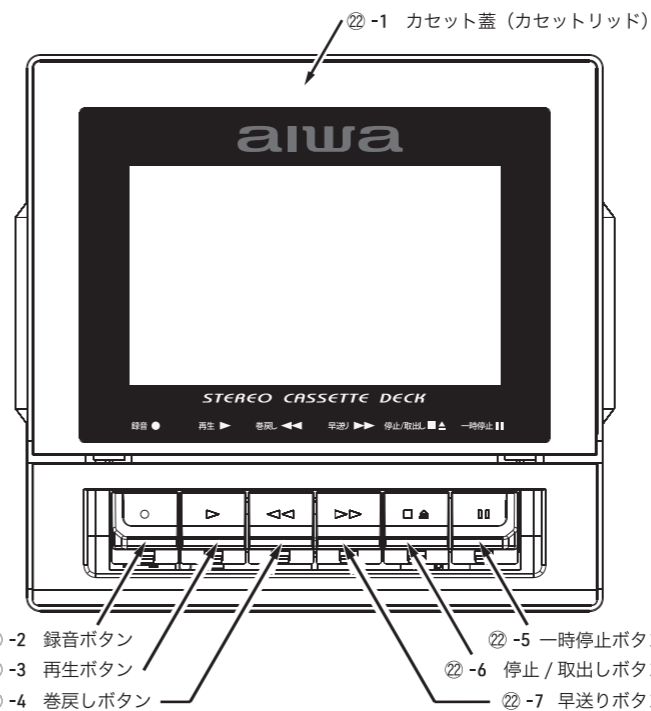
ラジオの使い方

- [① 電源ダイヤル] を ON にします。
 - [⑦ 機能切替スイッチ] をラジオに切り替えます。
 - [⑧ ラジオ切替スイッチ] で AM と FM を切り替えます。
 - FM ラジオの場合は [④ FM ロッドアンテナ] を伸ばします。
 - [⑩ チューニングダイヤル] を回して放送局に合わせます。
- ※ FM 放送をステレオで受信した時に [⑲ FM ステレオインジケータ] が点灯します。

※ [⑩ チューニングメーター] に表示されている数字は目安の数字です。大まかな位置を目視で合わせ、音を聴きながら [⑩ チューニングダイヤル] を、回すか回さないか程度の微調整で雑音が少ないポイントに合わせてください。

カセットデッキの使い方

■カセットデッキ 各部名称



※裏面[カセットテープの取扱に関するご注意]を良く読んでご使用ください。

- [① 電源ダイヤル] を ON にします。
- [⑦ 機能切替スイッチ] をテープに切り替えます。
- [㉖-6 停止 / 取出しボタン] を押してカセット蓋を開けます。
- カセットテープが露出している面を下にして蓋の内側にセットして、カセットごと蓋を閉めます。
※本機は中のテープが左から右へ巻きとられますので左側の穴にテープが巻かれた状態でセットしてください。
- [㉖-3 再生ボタン] を押して再生します。
- 再生中に [㉖-5 一時停止] ボタンを押すと再生が一時的に停止します。再度 [㉖-5 一時停止] ボタンを押すと再生が再開します。
- [㉖-4 巻戻しボタン] を押して巻戻し、[㉖-7 早送りボタン] を押して早送ります。

※本機には頭出し機能はありません。また、早送り・巻戻し中もスピーカーから音は聴こえません。テープの巻き取り量を目安に [㉖-6 停止ボタン] で止めてください。

■カセットテープへの録音方法

- 本機は各機能 [ラジオ / USB / 外部入力] からカセットテープへの録音が可能です。
- 空のカセットテープをセットして録音したい各機能に切り替えます。
 - 各機能の音が聴こえる状態で [㉖-2 録音ボタン] を押します。
 - [㉖-3 再生ボタン] が同時に押され、両ボタンが下がった状態であれば録音が行われています。
 - 録音を終了するには [㉖-6 停止 / 取出しボタン] を押してください。

USBメモリーの使い方

本機では USB メモリーに格納された MP3 ファイルを再生することが可能です。
※ 16GB まで推奨

■再生方法

- [① 電源ダイヤル] を ON にします。
- [⑦ 機能切替スイッチ] を BT/USB に切り替えます。
- MP3 が格納された USB メモリーを [⑨ USB ポート] に差し込むと自動で再生が始まります。再生中に [⑪ 再生 / 一時停止ボタン] を押すと再生が一時的に停止、再度押すと停止した箇所から再生が再開します。

[⑫ USB 戻しボタン] [⑬ USB 送りボタン] を押すと前の曲または次の曲を自動で再生します。

[⑫ USB 戻しボタン] [⑬ USB 送りボタン] を押すと前の曲または次の曲を自動で再生します。

- 再生中に以下の操作を行った後、USB 機能を再開した場合以下の動作をします。
 - テープ / ラジオ / 外部入力に切替え、または電源を切った場合
↳ 再生を中断した曲の最初から再生を再開。

- [⑭ プレーモードボタン] で Bluetooth に切替え、再度 [⑭ プレーモードボタン] で USB 機能に切り替えた場合、または USB を差し直した場合
↳ 再生中だった曲の中断した箇所から再生を再開。

Bluetooth機能の使い方

本機では Bluetooth 受信機能でスマートフォンやタブレットの音をワイヤレスで再生することが可能です。

- [① 電源ダイヤル] を ON にします。
- [⑦ 機能切替スイッチ] を BT/USB に切り替えます。
- [㉑ Bluetooth インジケータ] が点滅しペアリングモードになります。
- スマートフォン、タブレット等の Bluetooth 接続画面で本機 [GAA4-RC P0001] を選択して接続します。 ※ Bluetooth 接続画面の操作詳細は各機器の説明書をご確認ください。
- 接続が成功すると [㉑ Bluetooth インジケータ] が点灯します。
- スマートフォン、タブレット等で音楽や動画を再生すると本機から音が流れます。
- Bluetooth で再生中、本機の操作ボタン [⑪ 再生 / 一時停止ボタン] [⑫ 戻しボタン] [⑬ 送りボタン] で各操作をすることが可能です。

※タブレットを Bluetooth 接続して視聴する場合は [㉓ 可倒式グリップハンドル] を立て、本体上面手前の溝にタブレットをセットすることで、タブレットスタンドとして使用することができ、長時間の視聴時に便利です。



外部入力 (AUX) 機能の使い方

本機では 3.5mm ステレオミニジャックケーブル (別売) で再生機器を接続し、外部入力音声として本機で再生、カセットテープに録音することが可能です。

- [① 電源ダイヤル] を ON にします。
- [⑦ 機能切替スイッチ] を AUX に切り替えます。
- 先に外部機器に 3.5mm ステレオミニジャックケーブルを接続し、次に本機上面の [⑥ 外部入力端子] に接続します。

※先に本機にケーブルを接続すると他の再生機器を接続する際に大音量でノイズ等が鳴り、故障の原因になる場合がありますのでご注意ください。

- 接続完了後は他の再生機器で音声を再生し、本機で音量・音質を調整してください。
- 本機で再生される音声はそのままカセットテープに録音することが可能です。

故障かな?と思ったら

共通	音が出ない	○ 本体の電源 (ダイヤル) はオンになっていますか? ○ 本体背面の電源コードが抜けていませんか? ○ 電池でご使用時は全ての電池を新しい物に交換してください
カセットテープ	再生できない	○ テープは正しく録音されたものですか? ○ 機能切替はテープになっていますか? ○ 再生ヘッドが汚れていませんか?
	録音できない	○ 誤消去防止の爪が折れていませんか? ○ 録音したい音源の機能に切り替わっていますか?
Bluetooth	接続できない	○ スマートフォン、タブレットが別の機器と接続されていませんか? ○ 本機に別の機器が接続されていませんか? ※ Bluetooth は原則 1 対 1 の接続です。目的の機器以外の接続を解除して再度お試しください。
USB メモリー	再生できない	○ USB メモリーの推奨容量は 16GB 以下です。 ○ 本機で再生可能なファイル形式は MP3 です。それ以外の形式のファイルは動作保証外となります。